NPO法人

小金井雑学大学

創立20周年記念

懸賞論文を募集します

【募集期間】2017年 10月21日から12月20日まで（含消印日）

課 題 「人生100年時代の生涯学習」

【賞　金】

最優秀賞　10万円
1名（1編）

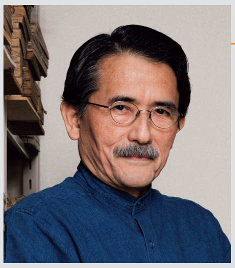
優 秀 賞　5万円
1名（1編）

佳　　作　各1万円
若干名

小金井雑学大学は、
「市民のために生涯学習の機会を提供する」
ことを理念として設立されてまもなく20年、
450回の講義を開催してきました。

応募資格	小金井市在住、在勤、在学の方
字数等	日本語、横書き、字数4,000字以内、自作、未発表、1名1編、表紙に氏名、住所（勤務先、通学先）年齢を記載のこと。
入選結果発表	2018年3月10日の予定
著作権	応募論文の著作権はＮＰＯ法人小金井雑学大学に帰属する。

審査委員



委員長　林　望　作家・国文学者

1949年生。慶応義塾大学大学院博士課程満期退学。ケンブリッジ大学客員教授、東京芸術大学助教授等を歴任。『イギリスはおいしい』で日本エッセイストクラブ賞、『ケンブリッジ大学所蔵和漢古書総合目録』で国際交流奨励賞等受賞。古典論、エッセイ、小説の他、歌曲等の詩作、能楽、料理書等、著書多数。『謹訳源氏物語』（全十巻）で毎日出版文化賞特別賞受賞。最新刊『謹訳平家物語』全四巻（祥伝社）、『巴水の日本憧憬』（河出書房新社）、『役に立たない読書』（集英社インターナショナル）。五十年来の小金井市民。

委　員（50音順）

- 柴田彩千子（東京学芸大学教育学部准教授）
- 杉原　弘泰（弁護士、元大阪高検検事長）
- 長坂　　寛（小金井雑学大学学長、松蔭大学副学長、経営学博士）
- 成瀬　　傳（小金井雑学大学代表理事）
- 山本　修司（小金井市教育委員会教育長）

郵送先・問い合わせ先　〒184-0005 小金井市桜町1-14-16 田中 留美子　☎080-5645-1477

NPO法人 小金井雑学大学 のご紹介

設　　　立：平成10年3月

設立の目的：経済優先の社会から本当の豊かさを模索する一つの試みとして、地域で大学に集う者が学び、つながる機会を作る。

方　　　針：3タダ主義—講師料・受講料・場所代すべて無料
（設立時は場所代も無料で実施、現在は公共施設を利用、会費制で運営）

講義開催回数：毎月第一、第三日曜日の午後2〜4時

講義の内容：文学・歴史・経済・自然・生活など幅広い分野で、小金井市を中心に近隣市から、または人脈で教授を依頼、教授の年齢も17歳から80歳以上と幅広い。

会員の親睦：周年記念懇親会、忘年会などを実施。

運　営　費：登録会員制度にて、年会費2000円。寄附金。会員以外の方は資料代100円（但し、6ページ以上は200円）。年間予算30〜40万円で運営。会員にはカリキュラムなどを郵送。

設立時の趣意書より抜粋

戦後長い間続いてきた、経済第一・仕事優先の生き方がバブル経済の崩壊を経験することによって見直しを余儀なくされています。経済的には豊かになった生活の中に、見落とされてきた生きがいや心の問題など、あらためて一人一人が自分に問い直していくときではないかと考えます。

今、日本では、世界的な観点から見ても急速に高齢社会を迎えようとしており、60才定年退職者の場合で言えば、地域との関わりを持つ場づくりが求められています。それだけでなく子ども達を取り巻く環境も、私たちに何を学ぶべきかという問題を投げかけているようです。さらに長寿時代の子育てを終えた女性たちの場合は、自分自身の世界を作るための生き方志向が平等社会の一員として期待されています。働き盛りの世代の方々も含め、すべての世代の人々が本当の豊かさとは何かを模索し、充実した生き方をつくる時代であろうと思います。

（中略）

一人一人が時には学び、時には教える側に立ち、しかも本大学に集う者が、学び、集まり、つながる機会作りにもなるようにし、さらに学習内容も、政治・経済・社会・医療・文化文芸等々広範囲に、なお時局の課題も取り入れて、誰もが親しみの持てる雑学大学としたいと考えております。そのためにも受講料・講師謝礼・施設利用料を無料（「3タダ主義」）としたい。（中略）困難な時代を生き抜く力をつけ、地域を舞台として住民同士がより豊かな人間関係を築いていけるよう、地域の発展の一助となるべく努力してまいりたいと思います。

3428-A4.indd　2　　2017/10/03　14:25